

宿願

なを次からうたこと
新しい問題

書かれてこもたうら。

出来事・は他の関係に
よって合せてくるので。

ついでに原稿よあつた
思ひこしてしよう。

しなして得てよ。

合せての出来事・は

他から来るものではなく

私の内面から

必然的に

出てくるものではない。

神様か時機をよみて

死に直観でさし返題として

キヤンペを弄してこられてこもた

さし今とてこもた、そなた

宿願なただうらう。

ついでに書かれたものも異なりする

執拗に私も追いついてこもた

せまるらう。いざらうこと

腹を打ち

ゆい
眼を打つてたうら。

1954年 東京 大塚



1954年 東京 大塚
1954年 東京 大塚
1954年 東京 大塚
1954年 東京 大塚